

科目名 (科目番号)	検査管理運営総論 (時間割参照)	教員名 山口 孝一	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	月曜日5限	
授業概要	臨床検査業務を円滑に遂行するためのマネジメントについて学ぶ。臨床検査室の使命、組織構成、各種マネジメントの視点を踏まえて、効果的・効率的に検査業務を進めることの重要性に対して理解を深める。						
目的・目標	目的:臨床検査室で行われているマネジメント活動を理解する。 目標:臨床検査業務に関わる法令、組織体制、具体的な運営方法などについて詳細に説明できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	臨床検査の意義	到達目標:臨床検査の意義、重要性について理解する。 学習内容:臨床検査に対する、臨床医からのニーズ、患者からのニーズ、社会からのニーズを整理し、医療および健康管理における臨床検査の位置づけを学ぶ。				
	2	検査管理の概念	到達目標:臨床検査室が保つべき品質保証体系について理解する。 学習内容:医療機関における臨床検査室、外部の民間検査センターの役割を学び、各施設における検査業務の管理の在り方について学修する。				
	3	検査部門の組織と業務	到達目標:現代的な臨床検査室の組織と業務について理解するとともに、将来の業務形態について考えをまとめる。 学習内容:検査体制の歴史的な変遷から現在の新しい業務形態までを学び、検査室の組織体制や業務の特徴を学修する。				
	4	検査部門の管理と運営(1)	到達目標:臨床検査室の実践的なマネジメントについて理解する。 学習内容:検査実務の管理、人事管理、検査機器管理、物品管理について学ぶ。				
	5	検査部門の管理と運営(2)	到達目標:臨床検査室の実践的なマネジメントについて理解する。 学習内容:情報管理、財務管理、リスクマネジメント、安全衛生管理について学ぶ。				
	6	検査の受付と報告	到達目標:臨床検査業務の入口と出口について、各医療職との関わりを含め、そのマネジメントの重要性を理解する。 学習内容:検査の受付、前処理、結果報告の実践について学ぶ。				
	7	精度保証	到達目標:臨床検査の精度を維持、改善するための活動全般を理解する。 学習内容:計測の誤差論・外部精度評価・トレーサビリティについて学ぶ。				
	8	検査情報の活用・生涯教育	到達目標:検査データの適正な二次の利用について理解するとともに、臨床検査技師としてのポリシー、生き甲斐等について考えをまとめる。 学習内容:臨床検査データの二次的利用に焦点を当て、チーム医療での活用、臨床疫学や医学研究への貢献について学ぶ。また、臨床検査技師のキャリアパスについて学修する。				
成績評価の方法・基準	定期試験 (100%)						
教科書	検査総管理理学 配布プリント		高木康・三村邦裕・編		医歯薬出版		
参考図書							
教員からのメッセージ	組織が活動するとき、様々なマネジメントが必要になります。この科目では、臨床検査分野に限らず、あらゆる業種に通用する内容も含めて履修します。総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。						